「注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡」に関するWebアンケート集計結果

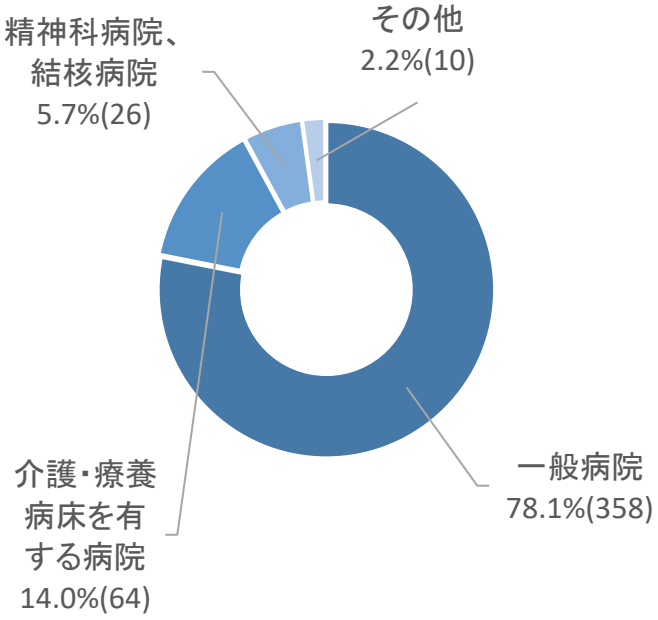
警鐘レポートNo.2　Webアンケート実施概要

調査期間　2025年11月5日～2026年2月28日
調査対象　医療安全管理者(8047施設)
回答数　458名
回答率　5.7%

回答者について

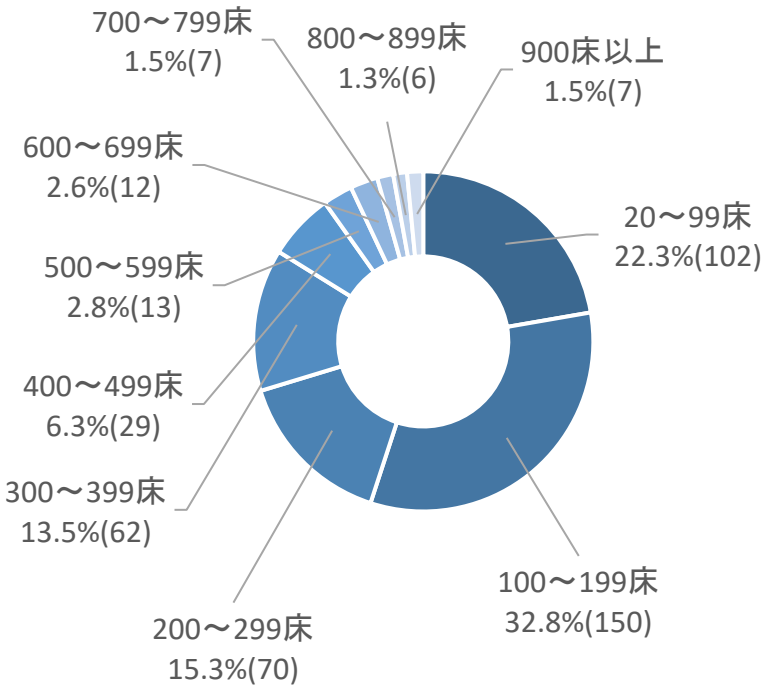
医療機関の種類

(n=458)



医療機関の病床数

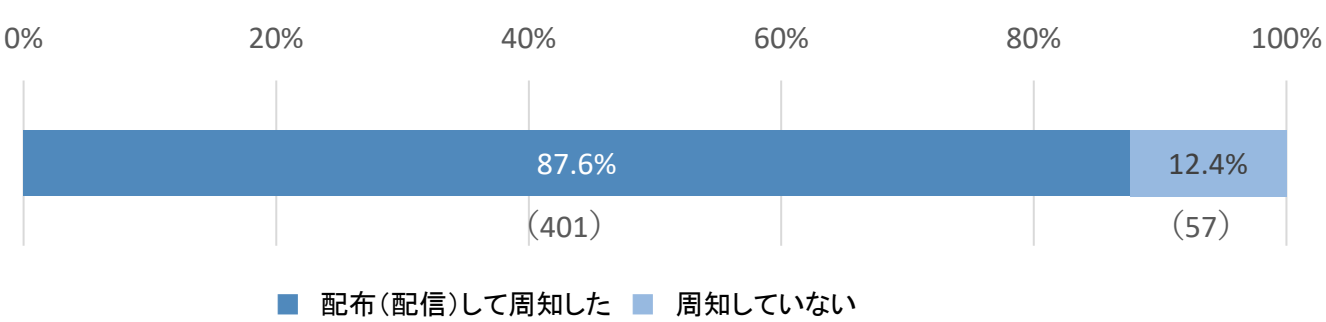
(n=458)



警鐘レポートの周知状況

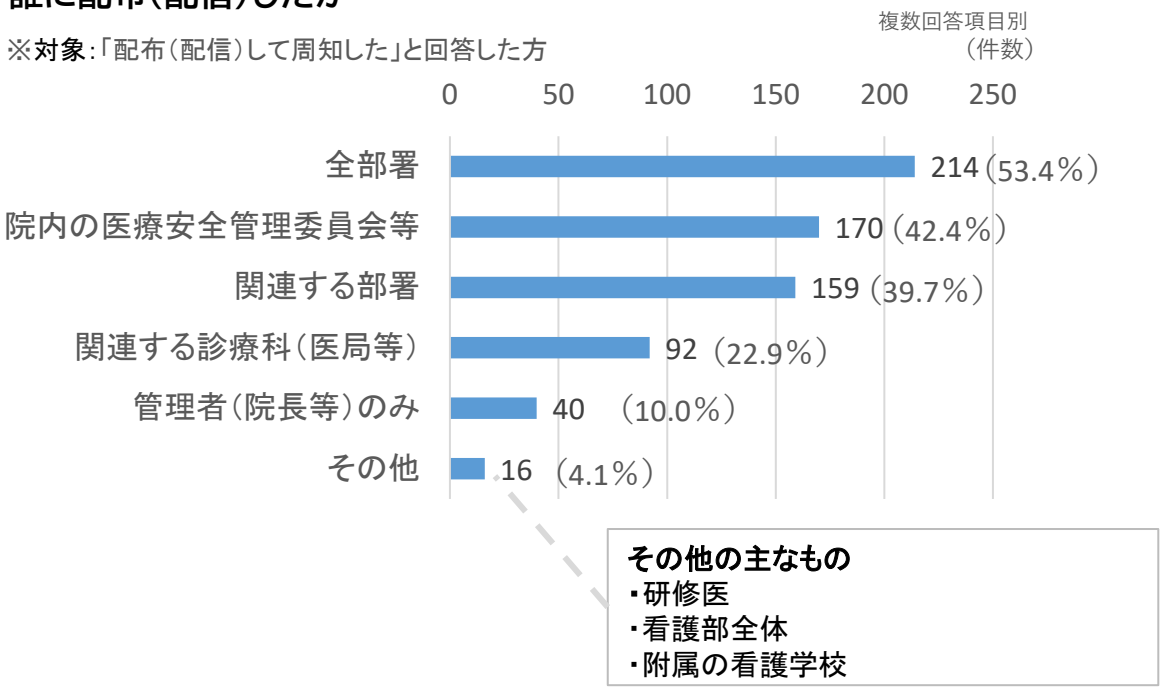
■ 警鐘レポートNo.2を院内で周知したか

(n=458)



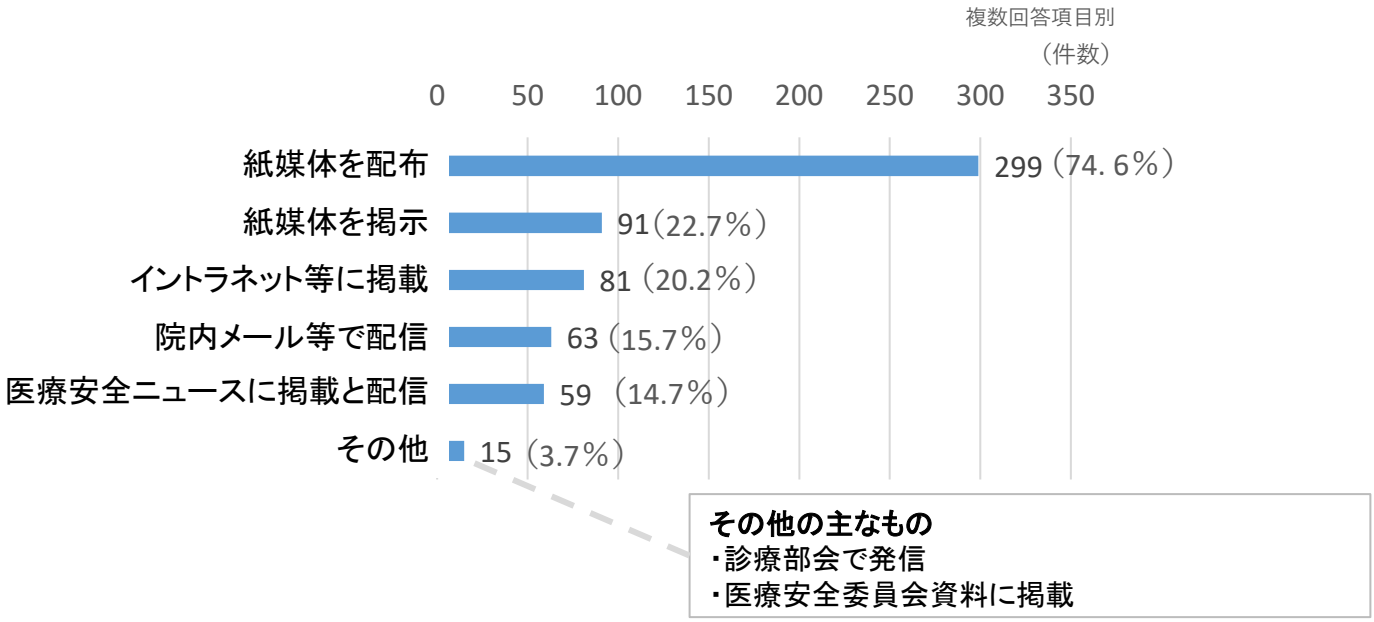
□ 誰に配布(配信)したか

※対象:「配布(配信)して周知した」と回答した方



□ 配布(配信)方法

※対象:「配布(配信)して周知した」と回答した方



□ 周知していない理由

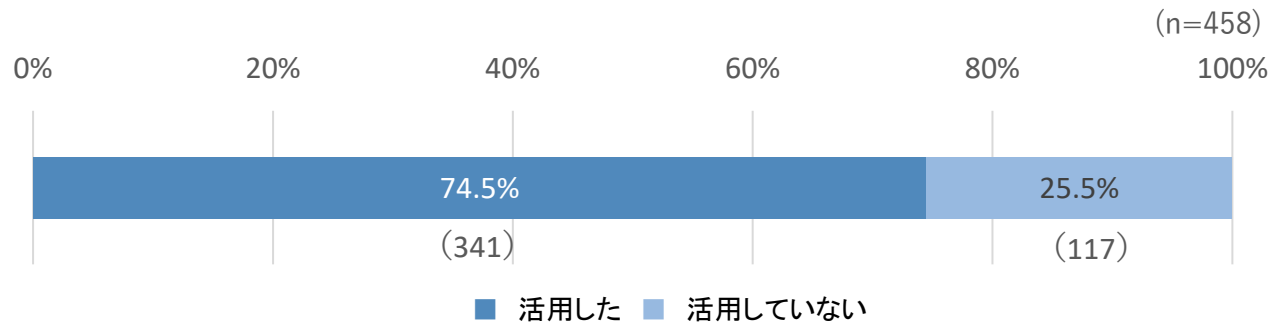
※対象:「周知していない」と回答した方

主なもの

・これから周知する予定
・警鐘レポートを知らなかった
・注射等の処置がほとんどない
・似た事項を別で周知してから間がない
・前任者が担当していた

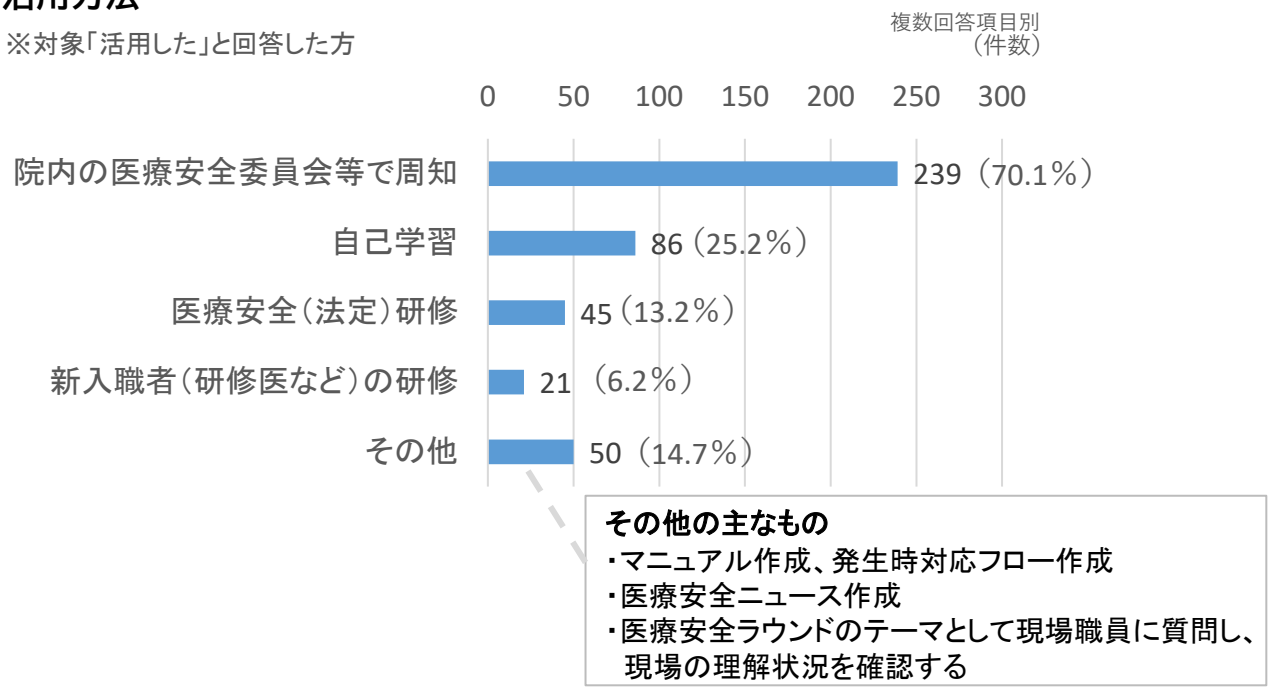
警鐘レポートの活用状況

■ 警鐘レポートNo.2を院内で活用したか



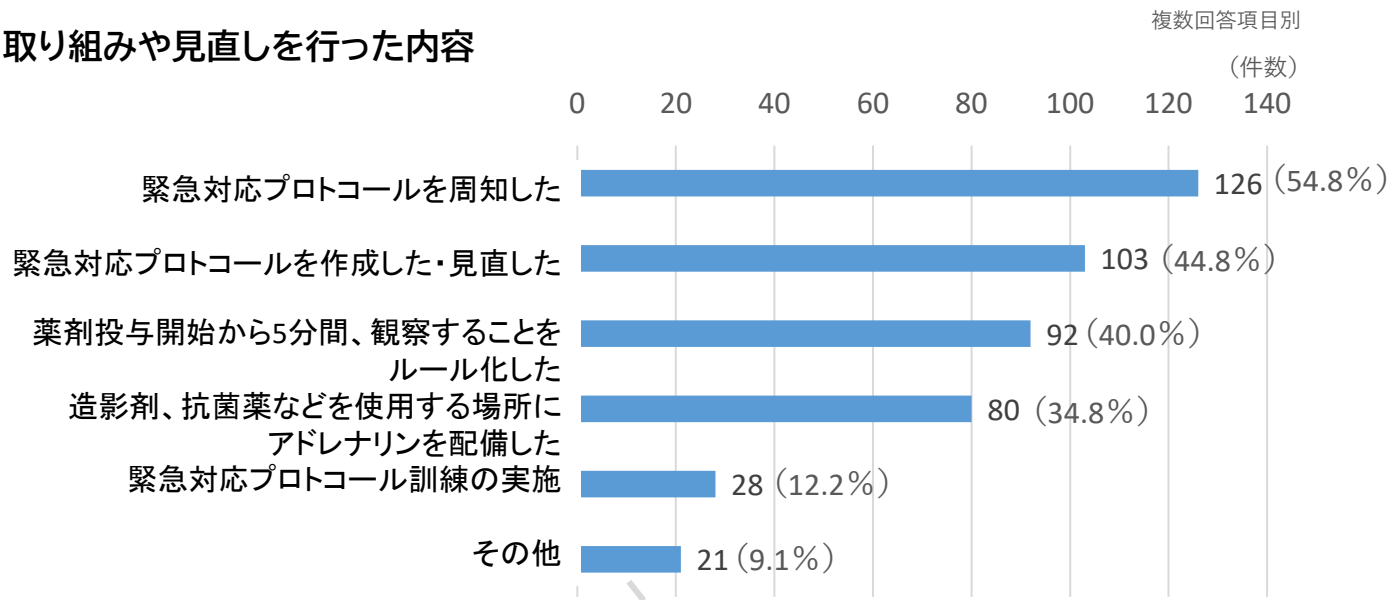
□ 活用方法

※対象「活用した」と回答した方



その他の主なもの
- マニュアル作成、発生時対応フロー作成
- 医療安全ニュース作成
- 医療安全ラウンドのテーマとして現場職員に質問し、現場の理解状況を確認する

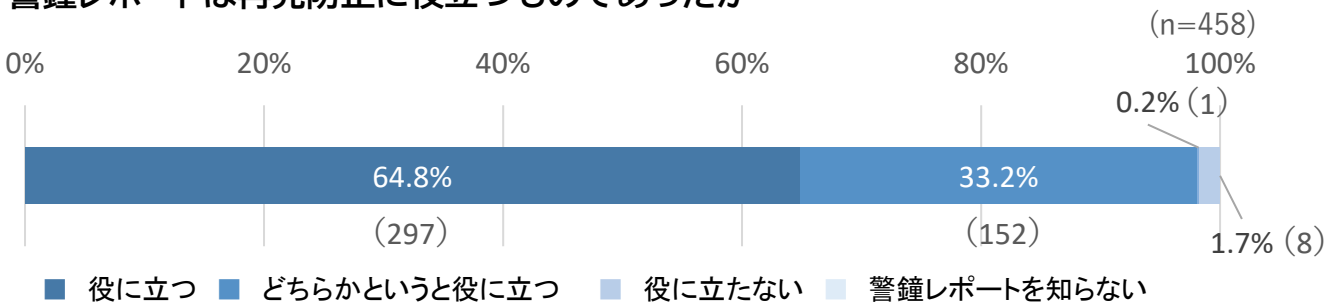
□ 取り組みや見直しを行った内容



その他の主なもの
- 救急カートにアナフィラキシー用のセットと説明パウチを準備
- アドレナリン配置場所に、初期対応の筋注量(成人・小児)を明記したカードの配備
- 医療安全マニュアルの改訂
- アレルギー対象薬処方時のアラートの範囲見直し

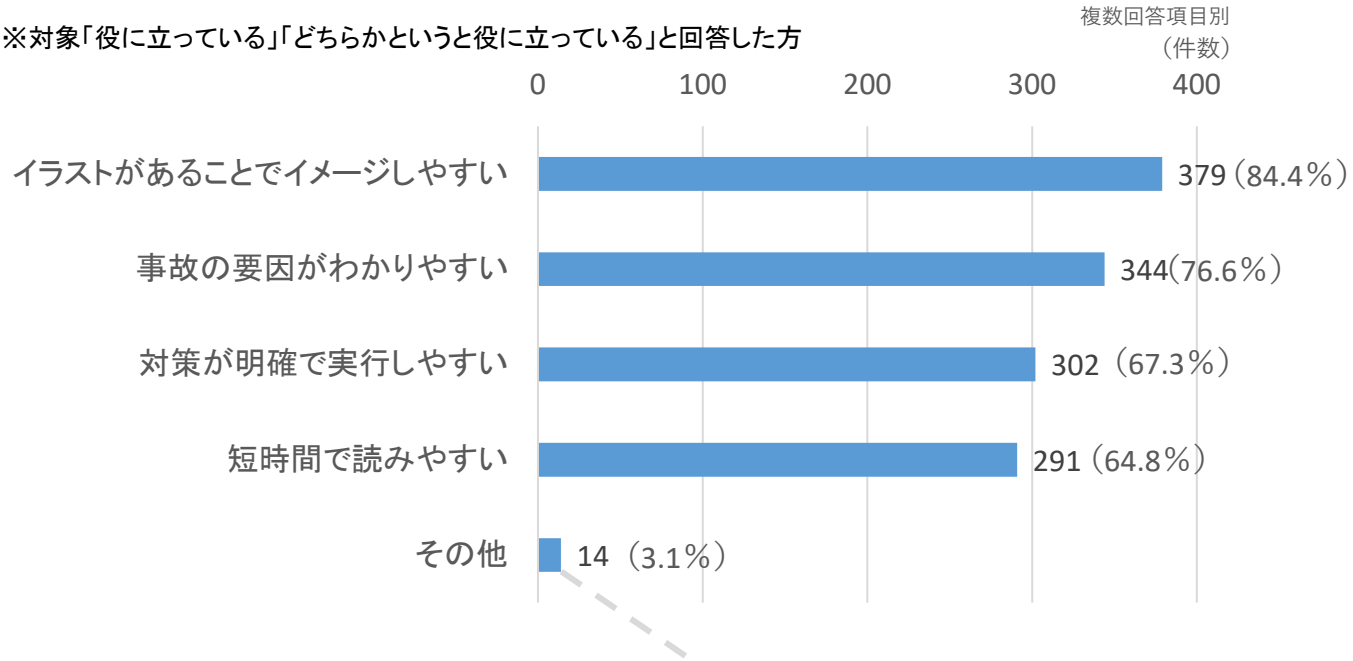
警鐘レポートの有用性

■ 警鐘レポートは再発防止に役立つものであったか



□ 再発防止に役立つと思う理由

※対象「役に立っている」「どちらかというと役に立っている」と回答した方



その他の主なもの
- 院内の教育・啓発・周知のための資料作りに使用できる
- マニュアル・手順書の見直し・改訂
- 周知しやすい
- 警鐘レポートを確認するだけでも、自施設での共通場面を考えるきっかけになった
- 自院の問題ではなくセンターからの警鐘は意識的に取り組もうと言いやすい

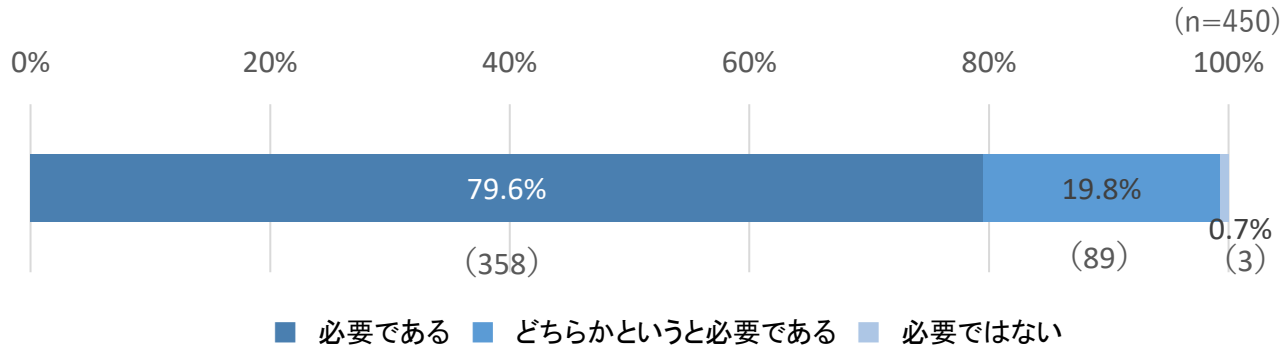
■ 再発防止に、より役立てるために工夫できること

主なもの
- 数分で閲覧できる動画があると、視覚的に印象づきやすい
- 裏表ではなく見開き（A3の二つ折り等）になると、掲示しやすい
- 視覚的に惹きつけられるデザインと配色にする
- 医師に活用していただきたい場面などは目立つように表示することや、職種別などがあると、院内で発言（提示）しやすい

事例概要の有用性

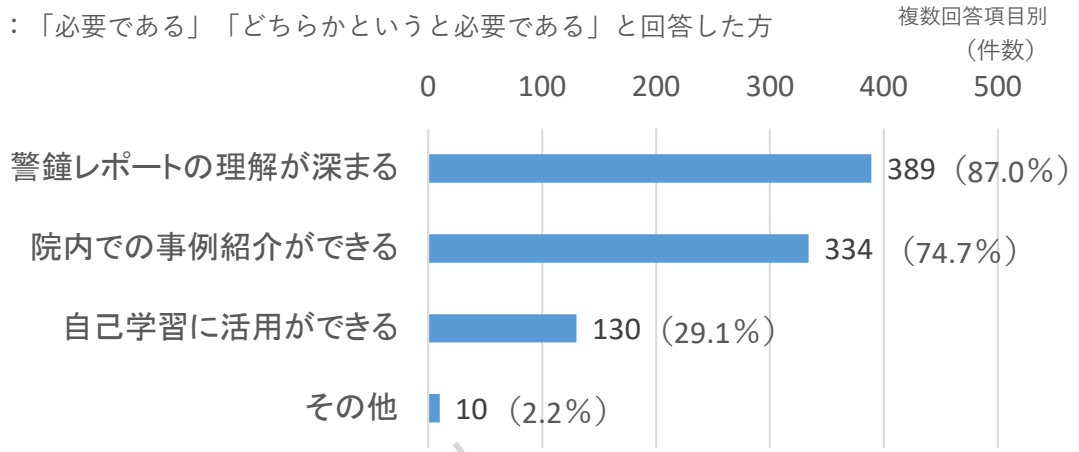
■ 警鐘レポートに事例概要を掲載する必要性について

※対象：警鐘レポートが「役に立つ」「どちらかというと役に立つ」「役に立たない」と回答した方



□ 必要であると思う理由

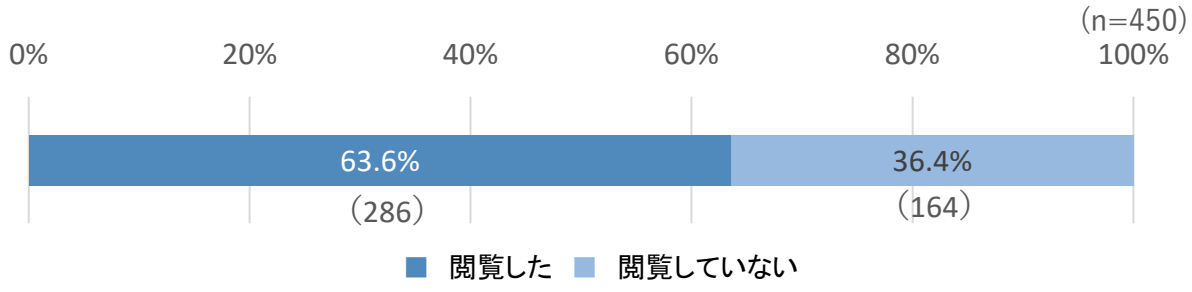
※対象：「必要である」「どちらかというと必要である」と回答した方



その他の主なもの
- 現場の状況を想像しやすい
- 事例から学ぶことが大切だと思うから
- 概要を知ることで、警鐘への説得力が増す
- 自施設でも起こり得るという危機感につながる

□ 事例概要が必要でないと思う理由

- 概要だけでは理解しにくい
- 重要な対策だけでよい

■ ホームページに掲載されている「対象事例の概要」(全対象事例)の閲覧状況

※対象：警鐘レポートが「役に立つ」「どちらかというと役に立つ」「役に立たない」と回答した方